

## 第2学年 英語科 シラバス (学習案内)

### 教科の目標

#### ○中学校外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

#### ○中学校2年生の英語科の目標

- ・ 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
- ・ 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
- ・ 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- ・ 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなど書くことができるようにする。

本校ではこれらの目標を次の「評価の観点と方法」をもとに達成することを目指します。

### 評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中で行う活動（言語活動）へ積極的に取り組んでいる。</li> <li>・ 授業で提示された課題（提出物も含む）に提出期限を守り、きちんと取り組むことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挙手・発表</li> <li>・ 提出物（ノート・ワーク・ファイル・プリント）</li> <li>・ 表現活動（スピーキング・ライティング・会話活動）への取り組み など</li> </ul>
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えや気持ちなど伝えたいことを、英語を使って表現することができる。（スピーキング・ライティング）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期テスト</li> <li>・ 表現活動の内容（英会話、英作文）など</li> </ul>
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとまりのある英文を聞いたり、読んだりして相手が伝えたいことを正しく聞き取り、その内容を理解できている。（リーディング・リスニング）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期テスト</li> <li>・ リスニングテスト</li> <li>・ リーディングテスト など</li> </ul>
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語の単語・表現・語法を正しく理解している。また、その背景にある歴史や伝統・習慣などを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期テスト</li> <li>・ 小テスト など</li> </ul>

## 第2学年 英語科 学習計画

学期	月	学習内容 (単元名)	学習のねらい	
一 学 期	4			
	5			
	6	Program 1	☆一般動詞の過去 / 不規則動詞 / 過去の状態 / 過去のある時にしていた事 ・教科書の内容を理解する。 ・過去にしたこと、状態、過去のある時にしていたことを伝える表現を身につける。	
		Power-Up1	・まとまりのある英語を読んで、概要を理解する。 ・まとまりのある英語を書いて、伝えたいことを表現する。	
		7	Program 2	☆予定や計画 / 意思 ・教科書の内容を理解する。 ・すでに決まっている未来のこと、自分の気持ちや考え、今この時点で決めたことを伝える表現を身につける。
			Power-Up2	・天気など身近な情報を表す表現を正しく身につける。
二 学 期	8	Program 3	☆義務命令・禁止 / 必要・不必要 / 自分の考えを伝える ・教科書の内容を理解する。 ・自分の考えを伝える表現を正しく身につける。	
		Power-Up3	・電話で用いる定型表現を身に付ける。 ・誘ったり、依頼したり、約束したりする場合に用いられる表現を正しく身につける。	
	9	英語のしくみ2	・未来表現、接続詞などの文構造について復習する。	
		My Project4	・既習事項を用いて積極的に対話を発展させる方法を学び、スキットを演じる。	
		Program 4	・まとまりのある落語の文章を読んで、内容を理解し、落ちを理解する。	
		Program 5	☆人やものの存在を表す / いつ何をするのか説明する ・教科書の内容を理解する。 ・ものの存在を表す表現や、時や条件を示す節の用法を正しく身につける。	
	10	Power-Up4	・買い物で用いる定型表現を正しく身につけ、運用する。	
		Program 6	☆自分のしたいことを言う / 行動の目的を説明する / ものを描写する ・教科書の内容を理解する。 ・不定詞の用法を正しく身につける。	
	11	Power-Up 5	・対話の内容から大切な情報を聞きとり、それらを英語で書く	
		Program 7	☆人の行動を説明する / 変化の様子を描写する / 人の行動を説明する ・教科書の内容を理解する。 ・動名詞・SVC・SV00の用法や文型を正しく身につける。	
		Power-Up6	・道案内で用いる定型表現を正しく身につけ、運用する。	
		Program 8	・まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	
	三 学 期	1	Program 9	☆形容詞の比較級・最上級・原級を用いた比較表現 ・教科書の内容を理解する。 ・形容詞の比較表現を正しく身につける。
			Power-Up7	・買い物で用いる定型表現を正しく身につける。
2		Program 10	☆長い形容詞や副詞を用いた比較表現 / better best を用いた比較表現 ・教科書の内容を理解する。 ・形容詞や副詞・better best を用いた比較表現を正しく身につける。	
		Program11	☆受け身(受動態)の文 ・教科書の内容を理解する。 ・受け身(受動態)の文を正しく身につける。	
		Program 12	・まとまりのある文章を読んで、教科書の内容を理解する。	
		3		

◎学習計画は、実態に応じて変更することもあります。